



ヤマハ発動機株式会社
第80期 中間報告書
2014年1月1日から2014年6月30日まで



証券コード：7272

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

第80期第2四半期連結累計期間（以下、当上半期）の事業内容をご報告申しあげます。

当上半期の経済環境は、米国では失業率の改善や株高による資産効果の影響により個人消費は回復基調となりました。欧州でも雇用環境の改善により、個人消費に回復の兆しが見られます。一方、新興国では地域によっては政治的混乱や経済減速が懸念される状況にあります。日本では雇用・所得環境に回復が見られ、企業収益の改善が見られる一方、個人消費は消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動で一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられました。

このような環境の中、当社グループは中期経営計画（2013年～2015年）の2年目として、事業戦略の補強・見直しを実施し、計画の前倒しに取り組みました。

当上半期の売上高は7,560億円（前年同期比532億円・7.6%増加）となり、全事業セグメントにおいて増収となりました。

営業利益は491億円（同189億円・62.4%増加）となり、大幅な増益となりました。先進国事業においては、二輪車・マリン事業の増収効果や円安効果等が、積極的な開発費・販売費投入などの経費増加等を上回り、増益となりました。また、新興国二輪車事業では、コストダウンやモデルミックス改善による利益増加が、通貨安による調達コストの上昇などを吸収して前期並みの利益を確保しました。

経常利益は491億円（同185億円・60.6%増加）、四半期純利益は322億円（同118億円・57.6%増加）となりました。

なお、当上半期の為替換算レートは米ドル102円（同6円の円安）、ユーロ140円（同14円の円安）でした。

通期の連結業績につきましては、マリン事業の収益性の向上、先進国二輪車事業の想定を上回る回復により、中期経営計画の営業利益目標（2015年：800億円）を1年前倒しで達成する見込みです。

配当につきましては、通期連結業績予想が当初予想より改善したことを踏まえ、年間配当予想を1株当たり29円（当初予想：26円）に修正し、中間配当を1株当たり14円50銭とさせていただきます。

株主の皆様には、なお一層のご支援を賜りますようお願い申しあげます。

2014年9月
代表取締役社長




第80期上半期経営総括

■各事業で「個性ある新商品」の市場投入進む

中期経営計画で予定した通りに進捗し、各市場でのプレゼンスを獲得しています。

- 二輪車事業：「MT-07」（欧州）、「GT125」・「YZF-R15」（インドネシア）、「Sirius FI」（ベトナム）、「Cygnus α」（インド）など
- マリン事業：高性能・軽量・コンパクトな大型船外機115馬力モデル
- RV事業：レクリエーション・オフハイウェイ・ビークル（ROV）6人乗りモデル「VIKING VI」
- 電動アシスト自転車：幼児二人同乗基準適合モデル

■戦略課題の取り組み進む（モノ創りが変わる）

- 「TRICITY MW125」（3月：タイ）、「YZF-R25」（6月：インドネシア）を投入、それぞれの生産国からグローバル市場に展開する予定です。
- 次世代プラットフォームモデルの開発を進め、圧倒的な低燃費エンジンを搭載した「Nozza Grande」（7月：ベトナム）を投入し、「低燃費+走りの楽しさ」をお客様に提供します。

■構造改革課題の取り組み進む

- 国内工場再編成は、当初の12工場・25ユニットから2015年末の6工場・13ユニットへの集約・再編成が計画通り進捗し、欧州事業体制の改革も予定通り進めています。
- コストダウン活動は、アセアン統合開発センター・インド統合開発センターでの市場適合設計やグローバルパートナーとの協業を進め、主要部品の調達コストダウンを推進しました。

■新興国通貨安への対応に取り組む

- 特にインドネシアやブラジルにおいて、昨年末より急激に進んだ現地通貨安による調達コストの上昇に対応すべく、販売価格の見直しやコストダウン活動に取り組みました。

連結業績予想について

マリン事業、先進国二輪車事業の販売増加が新興国二輪車事業で景気が減速しているタイ・ベトナムの販売減少を吸収する見通しであることから、通期の売上高は当初予想を変更していません。利益面ではマリン事業における大型モデル販売比率の上昇、先進国二輪車事業の想定を上回る回復により、当初予想を上回り、中期経営計画（2013年～2015年）の営業利益目標（2015年：800億円）を1年前倒しで達成する見込みです。

2014年12月期連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	換算レート(\$/€)	年間配当金
修正予想 2014年8月	15,000億円	830億円	850億円	500億円	\$101円/€138円	29円
当初予想 2014年2月	15,000億円	750億円	770億円	450億円	\$100円/€135円	26円

広がるモビリティの世界 LMW※第1弾

トリシティ TRICITY デビュー



※リーニング・マルチ・ホイール
モーターサイクルのようにリーニング（傾斜）して
旋回する3輪以上の車両の総称

広がるモビリティの世界 LMW第1弾 「TRICITY MW125」をグローバルに新発売

当社はLMW製品の第1弾であり、スクーターなどと同様の扱いやすい運転操作性を備えた新しいモビリティとして「TRICITY MW125」を3月にタイに投入、7月には日本で発表しました。今後は、欧州やフィリピンでも発売を予定しています。生産はグローバルモデルとしてタイで行ってまいります。

既存の二輪車のお客さまだけでなく、これまでの二輪車には興味がなかった方、小回りの利く通勤ユーザーを求める四輪ユーザーの方、通勤ユーザーの新しい楽しさを期待する方などに、楽しく、手軽に、快適に、豊かな生活を演出するモビリティとして開発しました。

国内の125ccスクーター市場は、年間約9万台で推移していますが、都市部を中心に経済性、利便性の高さが支持を受けており、市場規模の拡大が見込まれます。今回の「TRICITY MW125」は、フロント二輪構造を特徴とする125ccの“オートマチック・シティ・通勤”として、新たに提唱するモビリティです。

当社はこれからも、ヤマハらしい個性あるコンセプトで「広がるモビリティの世界」づくりに取り組み、世界中の人々の心を昂ぶらせ、期待を超える価値と感動をお届けしていきます。



TRICITY MW125の特長

1 軽快でスポーティなハンドリングと安定感の両立による新しい楽しさ

自然な操縦感と乗りやすさが味わえる、「パラレログラムリンク」を採用。軽快でスポーティなハンドリングと安定感を備える“新しい楽しさ”を実現しています。

2 さまざまな路面状況で快適な乗り心地

自然な乗り味と優れたクッション性が特長の「片持ちテレスコピックサスペンション」が、スポーツライクな走行感、軽快感など優れた乗り心地に貢献します。

3 シティ通勤ユーザーとしての高い利便性

市街地での軽快で心地よい乗り心地、快適で乗り降りしやすいステップスルーのフラットフットボードなど、シティ通勤ユーザーとしての高い利便性を備えています。

4 パワフルで経済的な水冷125cc YMJET-FIエンジン

発進～低速でのスムーズな走り、中～高速度域での伸びのある滑らかな走行性をもたらす水冷125cc YMJET-FIエンジンを搭載。

5 フロント二輪の特徴を活かした先進的かつ親しみやすい個性的デザイン

デザインコンセプトである“SMART FOR ALL”を体現した“エレガント”で“モダン”なスタイルは、流麗なボディラインやフロント二輪を強調したフェンダーまわりなどが特徴です。

TRICITY トリシティ スペシャルサイトオープン

TRICITYのCMキャラクター・大島優子さんによる、開発者へのインタビューや免許取得に挑戦する様子がわかる「TRICITYスペシャルサイト」がオープン。ぜひご覧ください。



<http://www.yamaha-motor.co.jp/mc/scooter/tricity/special/pc/index.html>

「MT-09」が
デザインアワードを受賞

「MT-09」が、世界的に権威のあるデザイン賞「iFデザインアワード」の「プロダクトデザインアワード2014」を、ヤマハ発動機製品として初めて受賞しました。



モーリタニアで、
技術援助による漁船が進水

モーリタニア政府から技術援助要請を受けて、FRP製漁船第1号艇が完成・進水し、同国の大統領など関係者列席の下、セレモニーが行われました。当社は、設備等に関する助言や「型」の提供、研修生の受け入れ、現地での技術指導などを行っています。



ROV第2弾
「VIKING VI」を発表

当社初の6人乗りROV「VIKING VI」を世界同時に発表。YMUS（アメリカ）ではイベントのサプライズとして発表し、参加者からは今後の販売に期待を寄せるポジティブなコメントを多数いただきました。



株主優待制度再開

2014年12月31日現在で100株以上の株式を保有している株主様を対象に、以下の中から好きなもの1つをお選びいただけます。

- ・地元名産品
- ・ジュビロ磐田 Jリーグ観戦ペアチケット
- ・ヤマハ発動機ジュビロ ラグビー観戦ペアチケット
- ・社会貢献基金への寄付

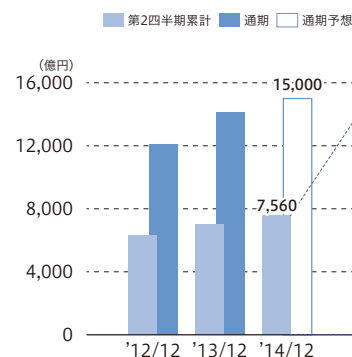
2015年12月期から再開し、詳細は3月開催の定時株主総会終了後にご案内します。



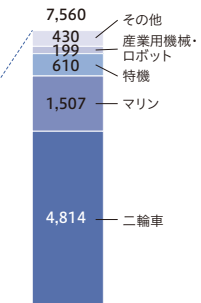
© JUBILO IWATA

連結業績の推移

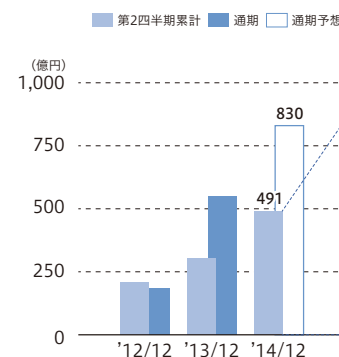
売上高



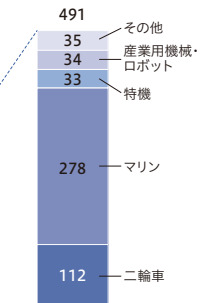
事業別売上高



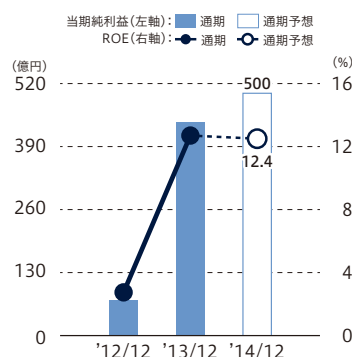
営業利益



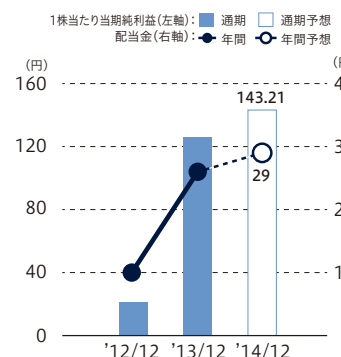
事業別営業利益



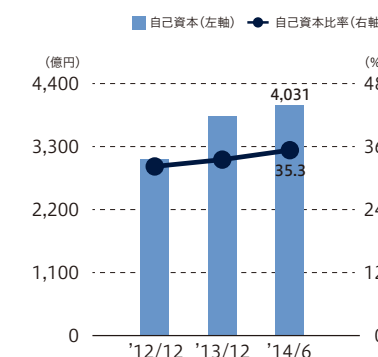
当期純利益・ROE



1株当たり当期純利益・配当金

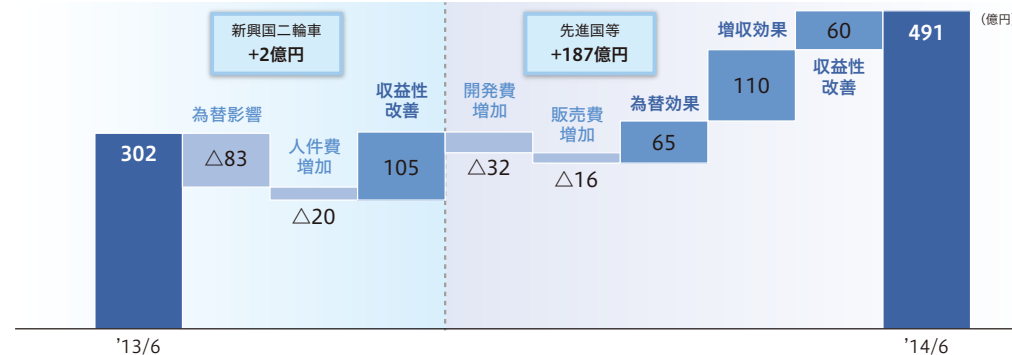


自己資本・自己資本比率



営業利益変動要因(上期)

- 新興国二輪車：コストダウン・収益性改善>現地通貨安による調達コスト増加等
- 先進国等：増収効果・収益性改善>積極的な開発費・販売費投入



株式情報 (2014年6月30日現在)

発行可能株式総数 900,000,000株 発行済株式総数 349,803,684株

株主数 27,663名

所有者区分	個人	金融機関	国内法人	外国人	証券会社
	7.3%	28.0%	20.9%	42.2%	1.6%
2014年6月末	7.7%	24.4%	20.8%	46.3%	0.8%
2013年12月末	8.5%	25.8%	20.9%	44.1%	0.7%
2013年6月末					

(注)「個人」には自己株式が含まれています。

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)
ヤマハ株式会社	42,619
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	31,101
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	12,698
トヨタ自動車株式会社	12,500
株式会社みずほ銀行	11,824
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	11,642
三井物産株式会社	8,586
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505223	8,279
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	8,114
株式会社静岡銀行	6,813

役員 (2014年6月30日現在)

代表取締役社長	柳 弘 之
代表取締役	木村 隆 昭
取締役	篠崎 幸 造
取締役	秀島 信 也
取締役	滝沢 正 博
取締役	鈴木 啓 之
取締役	橋本 義 明
取締役	渡部 克 明
取締役	加藤 敏 純
社外取締役	桜井 正 光
社外取締役	安達 保
社外取締役	中田 卓 也
常勤監査役	久米 豊
常勤監査役	平沢 茂 樹
社外監査役	河和 哲 雄
社外監査役	遠藤 功

株主インフォメーション

事業年度	1月1日から12月31日まで
剰余金の配当の 基準日	期末配当：12月31日 中間配当：6月30日
定時株主総会	3月
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告によります。ただし、やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
各種お問合せ先 郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社全国本支店

お知らせ

- 住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等のお申出先
 - 証券会社に口座を開設されている株主様
お取引先の証券会社等にお申出ください。
 - 証券会社に口座がなく、特別口座に記録されている株主様
特別口座を開設している下記の口座管理機関にお申出ください。
口座管理機関：三井住友信託銀行株式会社
- 配当金のお受取りについて
配当金の支払期間が過ぎた場合でも、支払開始の日から3年以内はお受取りいただけます。株主名簿管理人にお申出ください。支払開始の日から3年を経過した場合、当社定款の規定によりお受取りいただけませんのでご注意ください。

ヤマハ発動機株式会社

〒438-8501 静岡県磐田市新井2500番地
電話 0538-32-1103

<http://global.yamaha-motor.com/jp/>

